

作成：2014 年 2 月 7 日



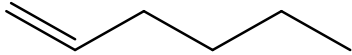
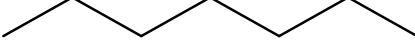
# GPS 安全性要約書

## 1-ヘキセン

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認ください。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

### 1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明	
三井化学の製品名	1-ヘキセン	
化学名 (別名)	1-ヘキセン、hex-1-ene	
成分	1-ヘキセン	n-ヘプタン
CAS 番号	592-41-6	142-82-5
含有量	99.0 %以上	1.0 %以下
分子式	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub>	C <sub>7</sub> H <sub>16</sub>
構造式		
官報公示整理番号	化審法：(2)-22 安衛法：既存	化審法：(2)-7 安衛法：既存

## 2. 物質の概要 (General statement)

本製品は、無色で特有の臭いのある液体であり、主成分として 1-ヘキセンを 99.0%以上含有しています。1-ヘキセンは、極めて強い揮発性があり、引火性が高いです。水にはほとんど溶けません。

1-ヘキセンは、一般的に合成樹脂、エポキシイソシアミン、オキシアルコールおよび合成脂肪酸の原料に使用されています。

1-ヘキセンは、一度吸入しただけでも、呼吸器へ刺激を与える恐れがあります。麻酔作用により、眠気又はめまいを起こす恐れがあります。飲み込み、気道に侵入すると生命に危険を及ぼす恐れがあります。

1-ヘキセンは水棲生物に対してわずかに有害性があります。また、1-ヘキセンは環境中に残留する可能性は低く、生体内に蓄積する可能性も低いです。

作業者が 1-ヘキセンを使用する場合は、気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。1-ヘキセンの ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による作業環境許容濃度の勧告値は 50 ppm (TWA\*) ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクの着用を考慮して下さい。吸収缶は有機ガス用のものを推奨します。

消費者が 1-ヘキセンを含む製品を使用する場合は、商品付属の取扱説明書に従って使用して下さい。環境への影響を最小化するために、1-ヘキセンまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

\*: 7. 推奨するリスク管理措置 を参照して下さい。

## 3. 製品情報 (Product information)

三井化学の本製品は、ポリマー原料に使用されています。1-ヘキセンの一般的な用途には、ポリマー、オキシアルコールの原料などがあります。

(出典 : NITE CHRIP IV. 暴露情報 [http://www.safe.nite.go.jp/japan/souqou/view/ComprehensiveInfoDisplay\\_jp.faces](http://www.safe.nite.go.jp/japan/souqou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces))

この製品に関する詳しい情報については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社

<https://www.mitsuichem.com/contact/safety/>

## 4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

本製品は、無色透明で特有の臭いのある液体です。

特性	説明
----	----

外観	液体
色	無色
臭い	特異臭

主成分である 1-ヘキセンの情報を下記に記載しました。1-ヘキセンは、極めて強い揮発性があり、引火性が高いです。水にはほとんど溶けません。

特性	説明
融点	-140 °C
沸点	63 °C
比重	0.7 (水より軽い)
引火点	-26 °C (クローズドカップ法) (引火性の高い液体(蒸気))
発火点	253 °C (常温の空気と接触しても自然発火しない)
蒸気圧	18.7 kPa (20 °C) (極めて強い揮発性がある)
水溶解性	50 mg/ℓ (20°C) (ほとんど溶けない)

## 5. ヒト健康影響 (Health effect)

1-ヘキセンは、一度吸入しただけでも、呼吸器へ刺激を与える恐れがあります。飲み込み、気道に侵入すると生命に危険を及ぼす恐れがあります。

影響	説明
急性毒性 (経皮)	皮膚に接触した場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます
皮膚腐食性・刺激性	皮膚への刺激が生じる可能性は低いと予想されます
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	眼への刺激が生じる可能性は低いと予想されます
感作性 (呼吸器)	アレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす可能性は低いと予想されます(予測結果)
(皮膚)	アレルギー性皮膚反応を起こす可能性は低いと予想されます
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患が生じる可能性は低いと予想されます
発がん性	知見がありません
生殖毒性	知見がありません
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	一度吸入しただけでも、呼吸器へ刺激を与える恐れがあります 麻酔作用により、眠気又はめまいを起こす恐れがあります
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期に飲み続ける、または皮膚に触れ続ける、または吸入し続けても、臓器に障害を起こす可能性は低いと予想されます

吸引性呼吸器有害性	飲み込み、気道に侵入すると生命に危険を及ぼす恐れがあります
-----------	-------------------------------

## 6. 環境影響 (Environmental effect)

1-ヘキセンは水棲生物に対してわずかに有害性があります。また、1-ヘキセンは環境中に残留する可能性は低く、生体内に蓄積する可能性も低いです。

環境有害性	説明
水生環境有害性	水棲生物に対してわずかに有害性があります。
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命・挙動	説明
環境中の移行性	環境中に排出された場合、水域に移行しやすいです(予測結果)
生分解性	環境中に残留する可能性は低いです
生物蓄積性	生体内に蓄積する可能性は低いです (予測結果)

## 7. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

本製品を使用する際には、SDSまたは取り扱い説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。これらリスク管理措置をとることで、作業員、消費者、および環境の 1-ヘキセンに対するリスクは管理できると考えられます。

対象	リスク管理措置
作業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。1-ヘキセンの ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による作業環境許容濃度の勧告値は 50 ppm (TWA*) ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクの着用を考慮して下さい。吸収缶は有機ガス用のものを推奨します。</li> <li>*: 米国産業衛生専門家会議によって設定された、1日8時間、週40時間の繰り返し労働において作業員に対し有害な影響を及ぼさない濃度</li> <li>・付着すると皮膚から吸収されますので、皮膚を露出しないようにして下さい。</li> <li>・作業管理者は作業員に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい</li> <li>・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設定して下さい</li> </ul>

消費者	・商品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい</li> <li>・1-ヘキセンまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい</li> <li>・漏洩防止対策をして下さい</li> </ul>

## 8. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014年 3月 4日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

<http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm>

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

<http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances>

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/1/30			2011/3/8	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。